

# スーパーマーケット販売統計調査資料

2025年2月実績 速報版

1月実績 確報版

(2025年3月21日公表)

## 調査資料概要

### 【パネル 270 社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

### 【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

### 【速報版・確報版】

速報版：前月販売実績を速報値として公表 確報版：速報値に精度の高い集計を加え確報値として公表

### 【全店・既存店】

全店：前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較 既存店：前年同月、当月共に営業の店舗による比較

### 【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮三部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜		惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタアベーカー、ファーストフード
		日配		豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム
		一般食品		調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類
		非食品		日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具
その他		テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)		

### 【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城。山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州地方・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄
北日本日本海側	北海道の日本海側とオホーツク海側（宗谷南部）、東北日本海側
太平洋側	北海道の太平洋側とオホーツク海側（網走・北見・紋別地方）、東北太平洋側
東日本日本海側	北陸地方
太平洋側	関東甲信、東海地方
西日本日本海側	近畿日本海側、山陰、九州北部地方
太平洋側	近畿太平洋側、山陽、四国、九州南部
沖縄・奄美	鹿児島県奄美地方、沖縄地方

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2025年3月21日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会

## スーパーマーケット販売統計調査 2025年2月実績 速報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	100,591,492	100.0%	103.2%	102.4%
食品合計	92,878,229	92.3%	103.5%	102.6%
生鮮3部門合計	34,637,679	34.4%	103.2%	102.2%
青果	14,349,971	14.3%	108.2%	107.3%
水産	8,435,521	8.4%	98.7%	97.7%
畜産	11,852,187	11.8%	100.7%	99.7%
惣菜	10,670,103	10.6%	102.6%	101.1%
日配	20,003,338	19.9%	102.3%	101.5%
一般食品	27,567,109	27.4%	105.1%	104.4%
非食品	5,434,019	5.4%	99.0%	98.9%
その他	2,279,303	2.3%	102.2%	102.1%

### 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,235,843	43	101.9%	101.3%
関東地方	37,475,626	73	103.9%	103.2%
中部地方	12,345,296	53	102.9%	102.0%
近畿地方	22,553,692	44	104.3%	102.7%
中国・四国地方	10,100,661	34	104.7%	103.6%
九州・沖縄地方	4,880,374	23	100.5%	100.9%

### 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1～3店舗	508,322	46	99.9%	99.9%
4～10店舗	4,408,332	84	101.6%	100.9%
11～25店舗	8,419,070	49	103.0%	102.0%
26～50店舗	17,124,747	45	102.5%	102.2%
51店舗以上	70,131,021	46	103.6%	102.7%
集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	99,083,006	
総店舗数 (店舗)	8,391	店舗平均月商 (万円)	11,988	
総売場面積 (㎡)	14,019,708	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.2	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2025年3月21日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2025年1月実績 確報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	104,811,202	100.0%	104.8%	103.6%
食品合計	96,210,569	91.8%	105.2%	104.0%
生鮮3部門合計	36,822,949	35.1%	105.5%	104.1%
青果	15,251,117	14.6%	110.6%	109.3%
水産	9,198,457	8.8%	102.5%	101.2%
畜産	12,373,375	11.8%	101.8%	100.4%
惣菜	11,576,633	11.0%	106.7%	104.8%
日配	20,877,994	19.9%	103.3%	102.2%
一般食品	26,932,993	25.7%	105.8%	104.8%
非食品	6,223,225	5.9%	100.4%	100.4%
その他	2,377,456	2.3%	103.7%	102.4%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,697,224	43	102.4%	102.2%
関東地方	37,998,222	73	106.1%	104.3%
中部地方	12,805,776	53	103.5%	102.5%
近畿地方	24,579,977	44	105.1%	104.0%
中国・四国地方	10,472,223	34	105.5%	104.5%
九州・沖縄地方	5,257,781	23	102.2%	102.4%

保有店舗数別集計

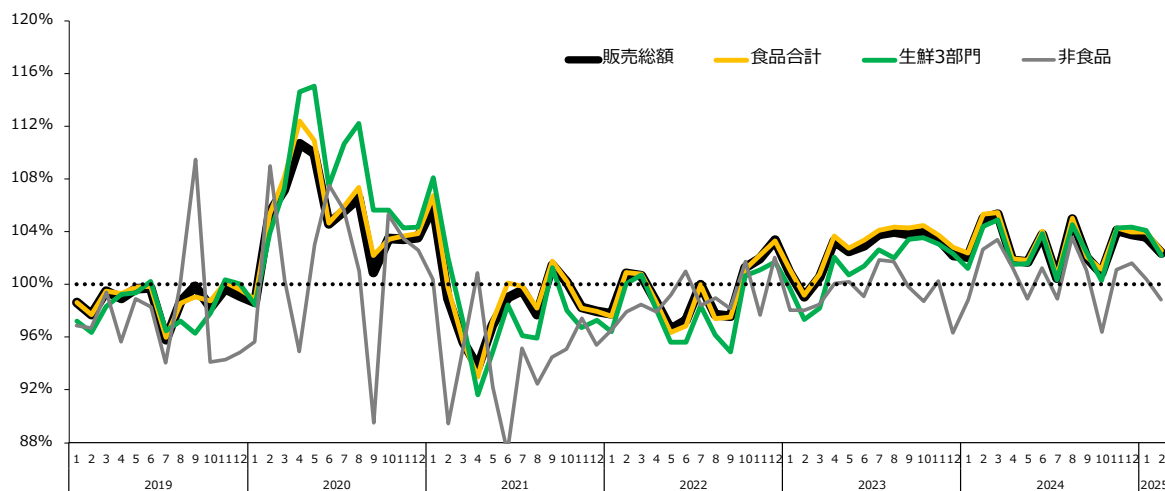
保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	526,289	46	98.8%	99.9%
4~10店舗	4,550,901	84	102.8%	102.3%
11~25店舗	8,612,946	49	102.8%	103.0%
26~50店舗	17,563,550	45	103.5%	103.1%
51店舗以上	73,557,516	46	105.5%	104.0%
集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	102,823,575	
総店舗数 (店舗)	8,396	店舗平均月商 (万円)	12,483	
総売場面積 (㎡)	14,010,585	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.5	

※売上高は税抜金額

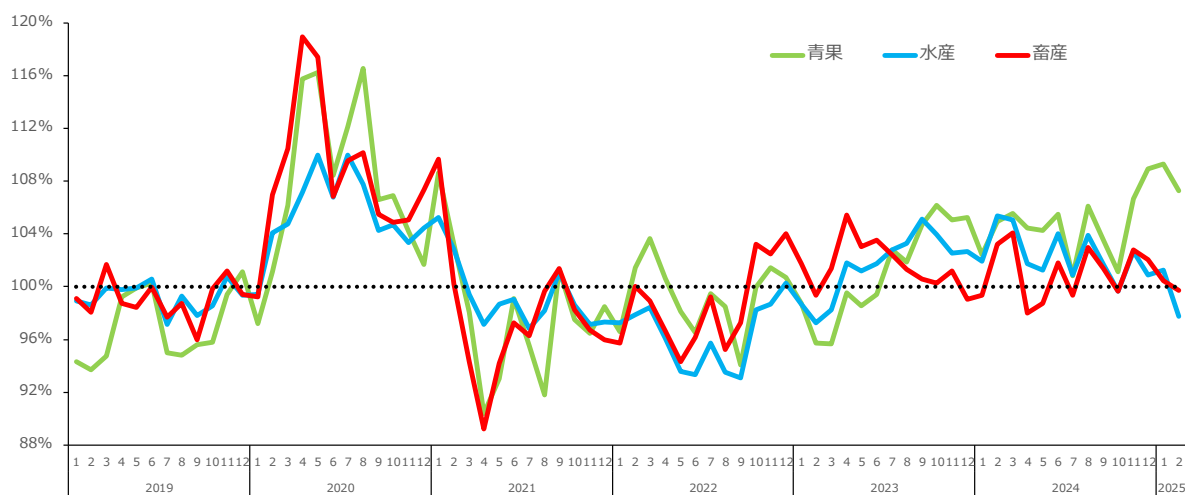
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

# スーパーマーケット販売統計調査 前年同月比（既存店）推移 2019年1月～

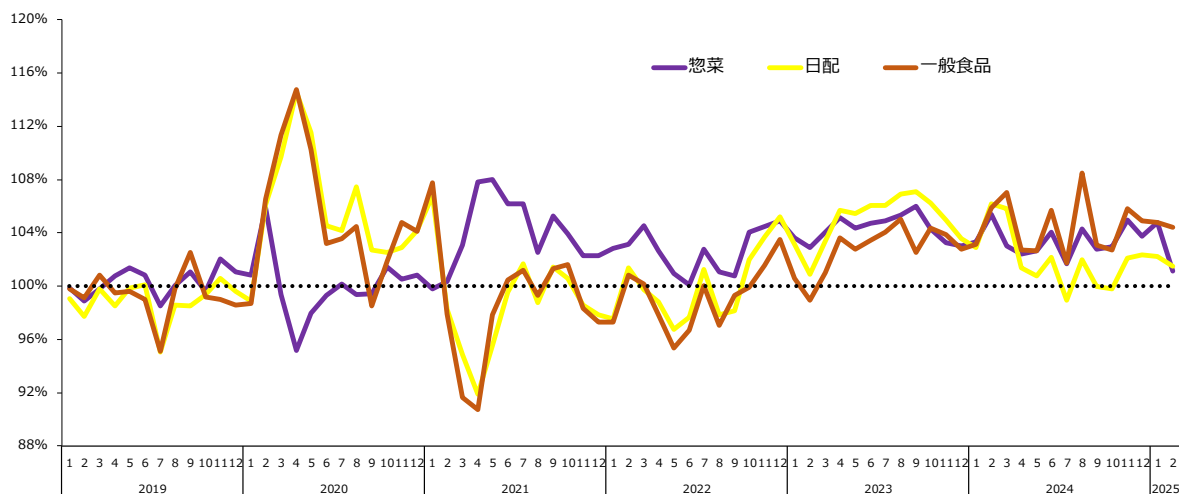
## 総売上高・食品合計・生鮮3部門・非食品



## 青果・水産・畜産



## 惣菜・日配・一般食品



※2025年2月実績は速報版

## 2025年2月 エリア別気候状況

### 2月の気温：西日本と沖縄・奄美でかなり低かった

上旬：北日本では高かった。西日本ではかなり低かった。

中旬：北日本では高かった。西日本では低かった。

下旬：北日本では高かった。東日本、西日本では低かった。

2024年2月との比較：西日本では月を通して前年よりかなり低くなった。中旬は全国的に前年よりかなり低くなった。

	平年との比較 (°C)						今年と前年との差 (°C)		
	2025年2月 (今年)			2024年2月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北日本 日本海側	1.3	1.3	1.2	0.2	4.8	-1.5	1.1	-3.5	2.7
太平洋側	1.2	1.3	1.1	0.0	4.9	-1.2	1.2	-3.6	2.3
東日本 日本海側	-0.7	-0.3	-1.4	0.8	5.1	-0.2	-1.5	-5.4	-1.2
太平洋側	-0.6	0.1	-1.0	0.9	5.2	0.1	-1.5	-5.1	-1.1
西日本 日本海側	-2.3	-1.1	-2.4	1.8	4.4	0.8	-4.1	-5.5	-3.2
太平洋側	-2.2	-1.0	-2.0	1.8	4.1	1.0	-4.0	-5.1	-3.0

#### 平年差

+2°C以上  
+1°C以上

-2°C以上  
-1°C以上

#### 前年差

+2°C以上  
+1°C以上

-2°C以上  
-1°C以上

### 2月の日照時間：東日本太平洋側でかなり多かった

上旬：西日本日本海側ではかなり少なかった。東日本日本海側、西日本太平洋側では少なかった。

中旬：東日本太平洋側、西日本日本海側ではかなり多かった。

下旬：北・東・西日本太平洋側ではかなり多かった。西日本日本海側では多かった。東日本日本海側では少なかった。

2024年2月との比較：中旬は北・東日本日本海側で前年よりかなり少なくなった。下旬は全国的に前年よりかなり多くなった。

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差		
	2025年2月 (今年)			2024年2月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北日本 日本海側	97	103	111	121	173	93	-24	-70	18
太平洋側	93	112	124	113	124	88	-20	-12	36
東日本 日本海側	74	108	78	85	179	47	-11	-71	31
太平洋側	97	125	133	82	101	75	15	24	58
西日本 日本海側	70	131	116	72	123	50	-2	8	66
太平洋側	92	121	125	72	108	62	20	13	63

#### 平年差

平年比150%以上  
平年比125%~149%

平年比50%以下  
平年比51%~75%

#### 前年差

+50%以上  
+25~49%

-50%以下  
-25~-49%

### 2月の降水量：北・東日本日本海側で多く、東日本太平洋側でかなり少なかった

上旬：北日本、東日本日本海側ではかなり多かった。西日本では多かった。

中旬：北日本日本海側では多かった。北・東日本太平洋側、西日本では少なかった。

下旬：北・東日本太平洋側、西日本ではかなり少なかった。北日本日本海側では少なかった。

2024年2月との比較：上旬は北日本・東日本日本海側でかなり少なかった。東日本太平洋側と西日本では月を通してかなり少なくなった。

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差		
	2025年2月 (今年)			2024年2月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北日本 日本海側	168	126	74	72	91	87	96	35	-13
太平洋側	221	54	20	53	85	219	168	-31	-199
東日本 日本海側	190	89	101	68	89	175	122	0	-74
太平洋側	66	29	1	221	84	251	-155	-55	-250
西日本 日本海側	152	61	41	185	128	248	-33	-67	-207
太平洋側	165	38	8	224	94	264	-59	-56	-256

#### 平年差

平年比150%以上  
平年比125%~149%

平年比50%以下  
平年比51%~75%

#### 前年差

+50%以上  
+25~49%

-50%以下  
-25~-49%

気象庁ホームページ「2025年2月の気候」を参考に事務局作成

# スーパーマーケット景気動向調査

2025年3月調査結果（2月実績）  
（2025年3月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会  
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会

### 3月調査（2月実績）結果概況

#### 現状判断DIは小幅に悪化

2月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DIの現状判断は、前月から-2.4の48.6、見通し判断が前月から-1.6の44.5となり、共に前月から小幅に悪化した。

経営動向調査では、売上高DIはプラス幅を縮小したが、収益DIは前月から大きな変化はみられなかった。客単価DIは二桁プラス水準を維持したものの、来客数DIはマイナス幅が拡大した。生鮮品仕入原価DIは前月より下落したものの、食品仕入原価DIと共に、二桁プラス圏で高止まり傾向となっており、販売価格DIは高水準を維持している。

カテゴリー動向調査では、相場高が続き価格が高騰した青果DIが大幅なプラス、米価格の高騰等により一般食品DIも二桁のプラスとなった。生鮮品価格や米の高騰により、惣菜の需要が代替需要としても高まっており、惣菜DIもプラス圏を維持している。（カテゴリー別動向に詳細掲載）

景況感調査は、現状、見通し判断共に、前月から小幅な悪化をみせたが、大きな傾向の変化はみられなかった。（長期傾向はP11参照）

うるう年の翌年にあたり、営業日が一日少ない影響も懸念されたが、生鮮品や米の価格高騰を背景に売上高は確保した店舗が多かった。前年より気温が低下し冬物商材が好調に推移したものの、寒暖差が大きく、販売に苦心したという声も聞かれた。政府による備蓄米放出が発表され、米の品薄感緩和が期待される一方、それがかえって消費者の不安を煽り買いだめの動きが出た、輸入米の調達を進めるなど長期化に備えている、急激な価格上昇による様々な影響を懸念する、などコメントもみられ、先行きの不透明感が続いている。

#### 景況感調査

##### 現状判断

<b>景気判断DI</b> 当月：48.6 (-2.4) 前月：51.0	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：46.2 (-1.6) 前月：47.8	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：46.0 (+0.3) 前月：45.7	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：47.2 (-0.6) 前月：47.8
--	---	---	---

##### 見通し判断

<b>景気判断DI</b> 当月：44.5 (-1.6) 前月：46.1	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：43.8 (-0.7) 前月：44.5	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：42.3 (-1.5) 前月：43.8	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：46.2 (+0.3) 前月：45.9
--	---	---	---

#### 経営動向調査 経営状況

<b>売上高DI</b> 当月：8.5 (-3.3) 前月：11.8	<b>客単価DI</b> 当月：14.7 (+1.2) 前月：13.5	<b>来客数DI</b> 当月：-6.3 (-3.5) 前月：-2.8	
<b>収益DI</b> 当月：-0.4 (+0.5) 前月：-0.9	<b>販売価格DI</b> 当月：23.4 (-0.3) 前月：23.7	<b>生鮮品仕入原価DI</b> 当月：19.2 (-7.3) 前月：26.5	<b>食品仕入原価DI</b> 当月：21.3 (-1.1) 前月：22.4

#### カテゴリー動向

<b>青果DI</b> 当月：22.9 (-1.9) 前月：24.8	<b>水産DI</b> 当月：-10.6 (-9.5) 前月：-1.1	<b>畜産DI</b> 当月：-5.5 (+0.6) 前月：-6.1	
<b>惣菜DI</b> 当月：4.5 (-7.8) 前月：12.3	<b>日配DI</b> 当月：-0.2 (+0.4) 前月：-0.6	<b>一般食品DI</b> 当月：10.4 (+5.1) 前月：5.3	<b>非食品DI</b> 当月：-11.2 (+0.8) 前月：-12.0

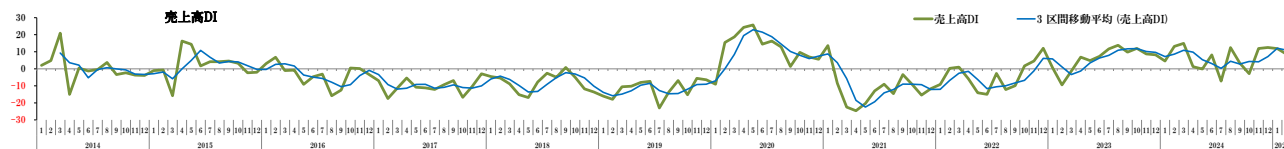
※DI値は前年同月との比較／○内は前月DIからの変化

# 結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

## 1. 売上高DI

前月からプラス幅を小幅に縮小

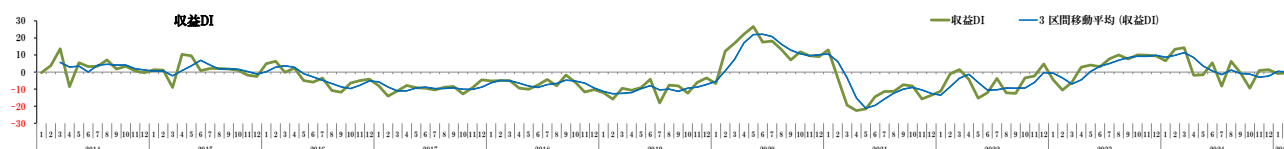
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	4.7	8.8	29.2	49.1	8.2	11.8
<b>売上高 (当月)</b>	<b>3.3</b>	<b>16.3</b>	<b>30.9</b>	<b>42.3</b>	<b>7.3</b>	<b>8.5</b>



## 2. 収益DI

前月から横ばいで推移

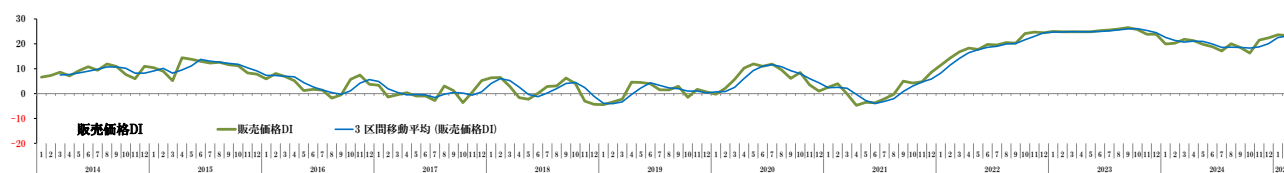
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	6.6	25.3	36.7	27.7	3.6	-0.9
<b>収益 (当月)</b>	<b>7.4</b>	<b>22.3</b>	<b>38.8</b>	<b>27.3</b>	<b>4.1</b>	<b>-0.4</b>



## 3. 販売価格DI

前月から横ばい推移、二桁プラス水準を維持

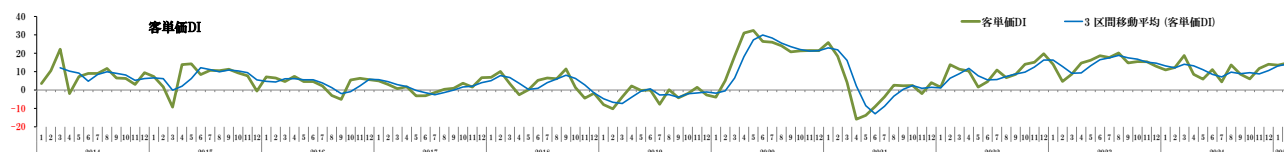
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	0.6	17.2	69.2	13.0	23.7
<b>販売価格 (当月)</b>	<b>0.8</b>	<b>0.0</b>	<b>16.4</b>	<b>70.5</b>	<b>12.3</b>	<b>23.4</b>



## 4. 客単価DI

前月から横ばい推移、二桁プラス水準を維持

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.6	8.4	32.3	53.9	4.8	13.5
<b>客単価 (当月)</b>	<b>3.3</b>	<b>7.4</b>	<b>23.1</b>	<b>59.5</b>	<b>6.6</b>	<b>14.7</b>





## 5. 来客数 DI

前月から小幅に下落、マイナス幅を拡大

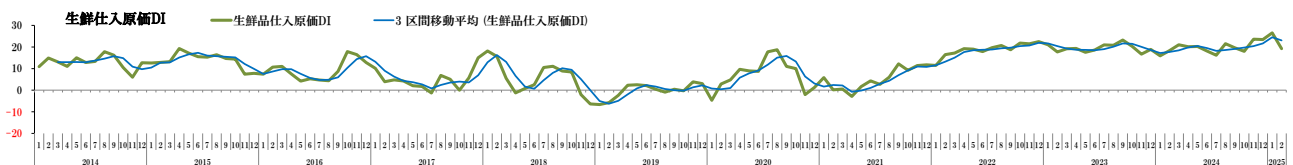
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	3.5	32.4	37.6	24.7	1.8	-2.8
<b>来客数 (当月)</b>	<b>8.9</b>	<b>35.0</b>	<b>32.5</b>	<b>19.5</b>	<b>4.1</b>	<b>-6.3</b>



## 6. 生鮮仕入原価 DI

前月から下落し、プラス幅を縮小

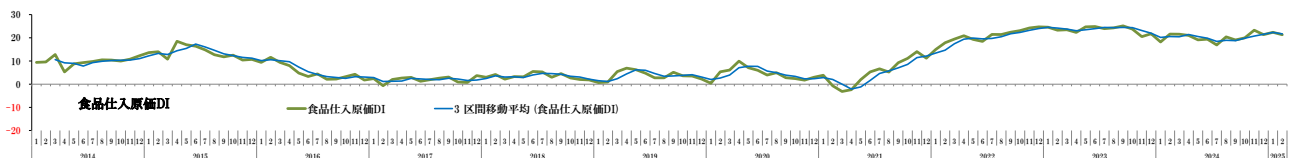
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.6	0.6	12.2	65.2	21.3	26.5
<b>生鮮仕入原価 (当月)</b>	<b>1.7</b>	<b>6.0</b>	<b>17.1</b>	<b>64.1</b>	<b>11.1</b>	<b>19.2</b>



## 7. 食品仕入原価 DI

前月から横ばい推移、46 か月連続プラス域

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.2	3.1	16.7	63.0	16.0	22.4
<b>食品仕入原価 (当月)</b>	<b>1.7</b>	<b>2.6</b>	<b>18.1</b>	<b>63.8</b>	<b>13.8</b>	<b>21.3</b>

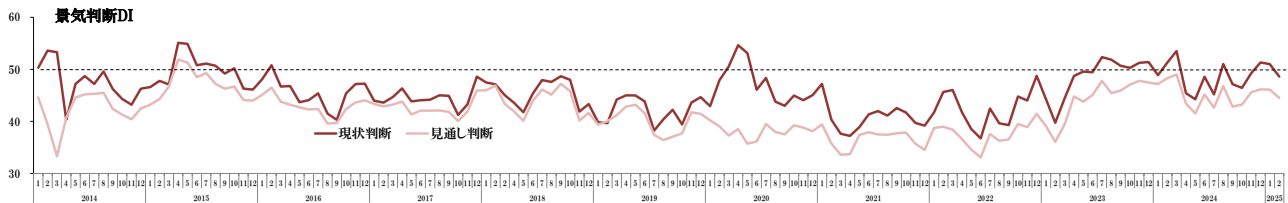


## II. 景況感調査 (2014年4月～/周辺地域景況判断 2010年4月～)

### 1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断、見通し判断共に小幅に悪化

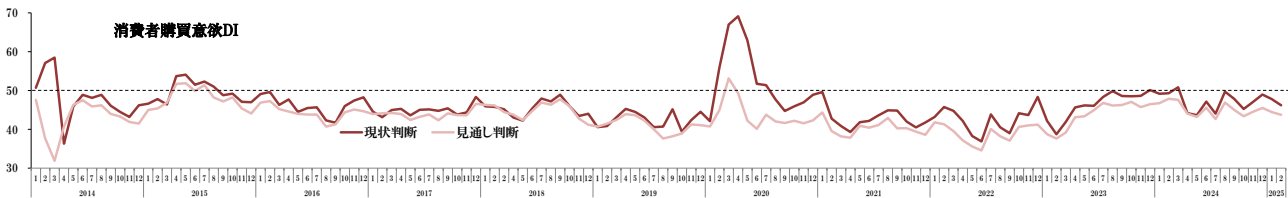
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	1.7	12.7	65.3	20.2	0.0	51.0
【現状】景況判断 (当月)	<b>1.6</b>	<b>18.4</b>	<b>64.0</b>	<b>16.0</b>	<b>0.0</b>	<b>48.6</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	2.3	22.5	63.6	11.6	0.0	46.1
【見通し】景況判断 (当月)	<b>3.3</b>	<b>29.3</b>	<b>54.5</b>	<b>12.2</b>	<b>0.8</b>	<b>44.5</b>



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に小幅に悪化

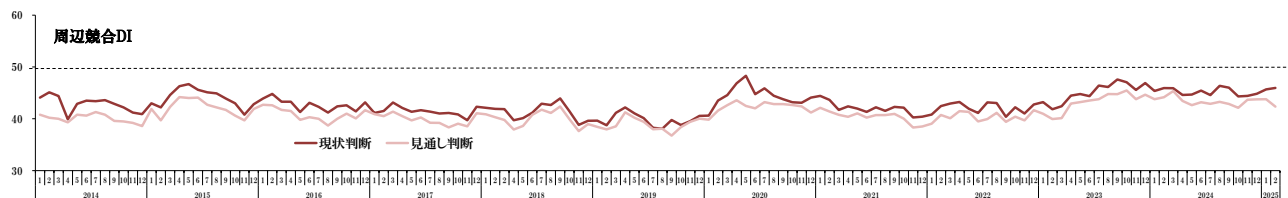
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.6	19.8	68.0	11.0	0.6	47.8
【現状】購買意欲 (当月)	<b>0.8</b>	<b>22.4</b>	<b>68.0</b>	<b>8.8</b>	<b>0.0</b>	<b>46.2</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	1.2	27.3	64.5	6.4	0.6	44.5
【見通し】購買意欲 (当月)	<b>1.6</b>	<b>29.8</b>	<b>60.5</b>	<b>8.1</b>	<b>0.0</b>	<b>43.8</b>



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断は前月水準、見通し判断は小幅に悪化

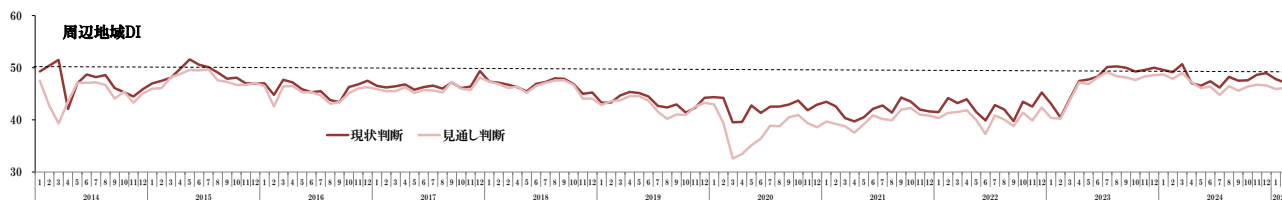
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.3	15.6	79.2	2.9	0.0	45.7
【現状】競合状況 (当月)	<b>3.2</b>	<b>14.5</b>	<b>78.2</b>	<b>3.2</b>	<b>0.8</b>	<b>46.0</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	3.5	20.8	72.8	2.9	0.0	43.8
【見通し】競合状況 (当月)	<b>5.6</b>	<b>21.8</b>	<b>70.2</b>	<b>2.4</b>	<b>0.0</b>	<b>42.3</b>



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断、見通し判断共に前月水準で推移

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.6	11.0	84.9	3.5	0.0	47.8
【現状】地域景気(当月)	0.8	13.8	81.3	4.1	0.0	47.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.6	17.4	79.7	2.3	0.0	45.9
【見通し】地域景気(当月)	0.8	18.5	75.8	4.8	0.0	46.2

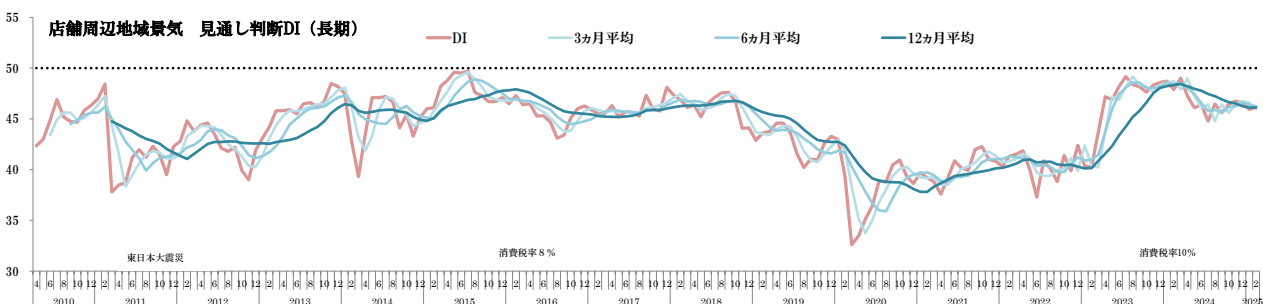
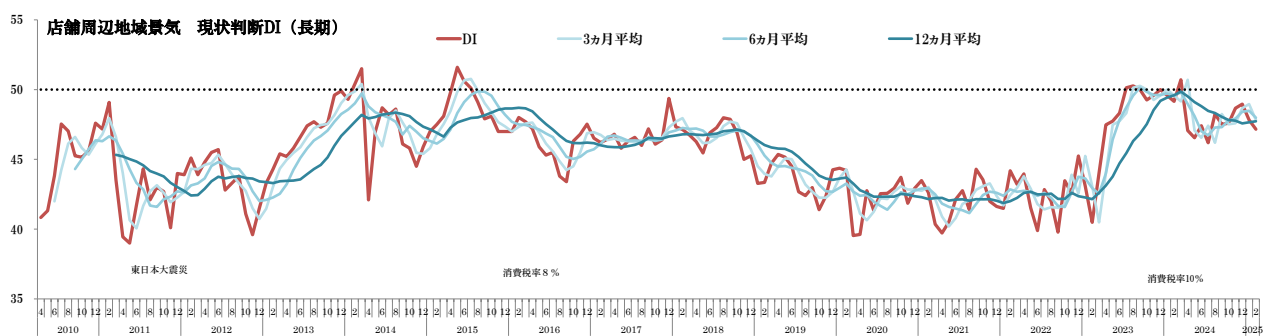


#### ・中核店舗周辺地域景気判断DI 長期傾向 (2010年4月～)

周辺地域景気判断DIは2011年3月の東日本大震災以降低迷を続けたが、12年11月から16ヵ月にわたる改善が続き、14年3月は現状判断DIが51.5を記録。14年4月の消費税率8%引き上げにより大幅に悪化するも徐々に持ち直し、2015年5月には現状判断DIは51.6に達し、調査開始以来の最高値を更新した。

しかし、その後15ヵ月間にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷。以後方向感の乏しい推移が続いたが、18年の後半から悪化傾向が顕著となり、19年7月には現状判断DIは42.3まで低下。20年2月に大幅に悪化した、その後持ち直しの動きが続いた。

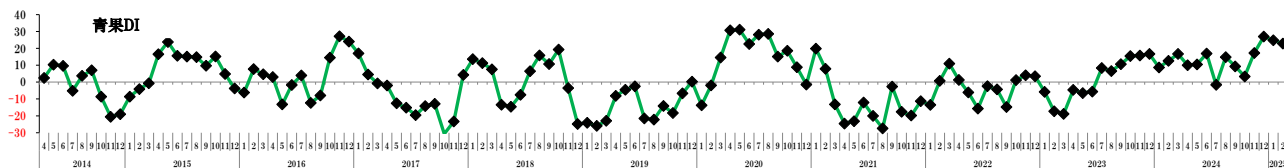
21年は、感染状況により上下に振られる動きが続いた。22年4月以降悪化が続き、6月にはすべての移動平均線が下向きへと変化、感染が再拡大した7月以降には一旦大幅な改善をみせた。23年3月以降は改善が続き、7月には判断の分かれ目である50を突破、その後も高水準を維持した。24年4月に一転して大きく悪化した。年の後半は緩やかな改善傾向が続いている。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：22.9（かなり好調）

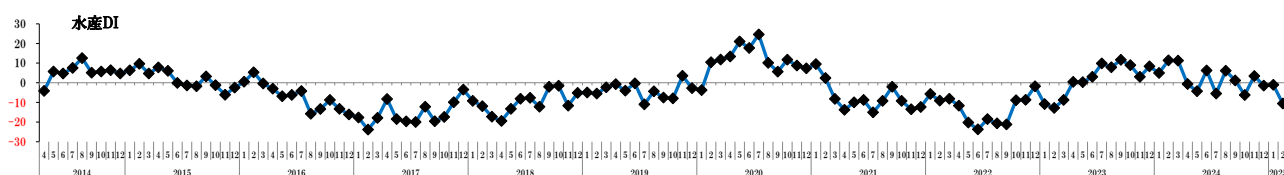
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	1.2	9.1	11.6	45.1	32.9	24.8
青果（当月）	0.8	7.6	19.3	43.7	28.6	22.9



寒波の影響もあり青果相場が高止まり、単価上昇により好調。ネギや白菜などの鍋関連野菜は気温低下で点数減も好調に推移した。高値の影響で、価格の安定しているキノコ類や、カット野菜の動きが良かった。カレー・シチュー用の土物類、根菜類などホットメニュー関連も好調となった。果実も高値となっているが、国産ではみかんやリンゴ、輸入果物ではバナナが好調とのコメントが多い。イチゴは入荷状況により好不調がわかれた。

#### 2. 水産DI：-10.6（不調）

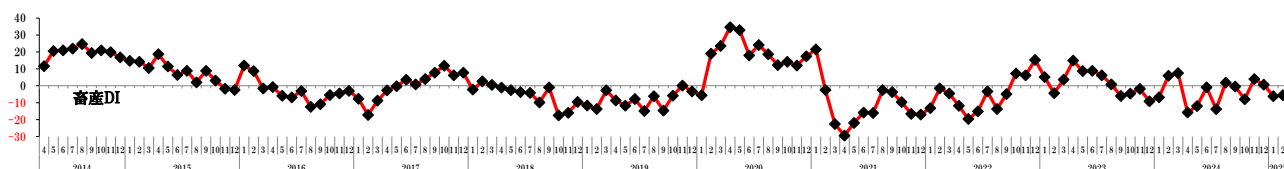
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	6.0	27.7	33.1	30.7	2.4	-1.1
水産（当月）	12.7	36.4	33.9	14.4	2.5	-10.6



天候不順により相場高傾向に加え、入荷が不安定で、販売に苦心した店舗がみられた。恵方巻関連は、予約販売は比較的好調も、当日が日曜日だったことや、降雪など天候の影響を受けた地域もみられた。前年高騰により不振だったカニ類は回復傾向がみられた。タラや牡蠣などの鍋関連商材が引き続き好調に推移した。シラスやいかなごは不漁で不調。高値のうなぎ、魚卵や塩干類も前月に引き続き動きが悪かった。即食ニーズにより、海藻類や味付け加工品が好調とのコメントが多かった。

#### 3. 畜産DI：-5.5（やや不調）

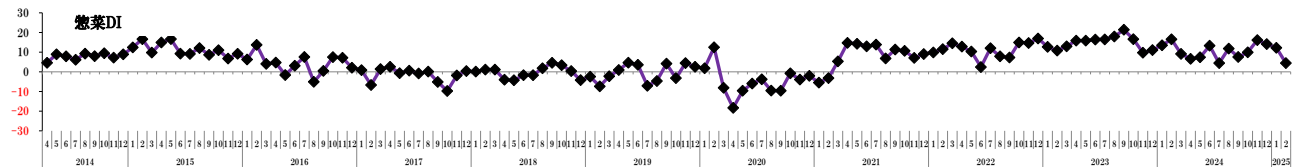
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	10.4	34.4	30.1	19.6	5.5	-6.1
畜産（当月）	11.0	32.2	33.1	15.3	8.5	-5.5



引き続き全般的に相場高が継続しており、部門としての伸び悩みと鶏肉への需要シフトが続いている。牛肉は引き続き、価格が抑えられる切り落としや小間切れなどが販売の中心となったが前年並みを確保した。豚肉は国産豚の価格上昇もあり伸び悩んだ。鶏肉は気温低下による鍋需要も追い風に好調となった店舗が多い。ハムなどの加工肉は回復傾向となるも、価格競争の厳しさを指摘するコメントがみられた。

#### 4. 惣菜DI：4.5（やや好調）

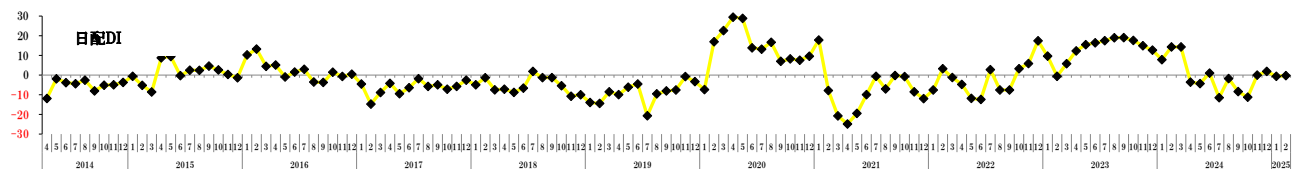
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	1.2	13.7	31.1	42.9	11.2	12.3
惣菜（当月）	<b>2.6</b>	<b>23.1</b>	<b>34.2</b>	<b>34.2</b>	<b>6.0</b>	<b>4.5</b>



前年より営業日が一日少ない影響もあったが、コメの価格高騰により米飯類、青果相場の高騰による惣菜類の需要増傾向が続いている。低い気温の影響で、揚げ物や麺類などホットメニューが好調な一方で、サラダ、寿司関連は伸び悩んだ店舗が多い。恵方巻は曜日めぐりや天候の影響が見られ、単価上昇もありハーフサイズなどへのシフトもみられた。価格改定が進む一方、利益確保やロス管理が難しいとのコメントがみられた。

#### 5. 日配DI：-0.2（やや不調）

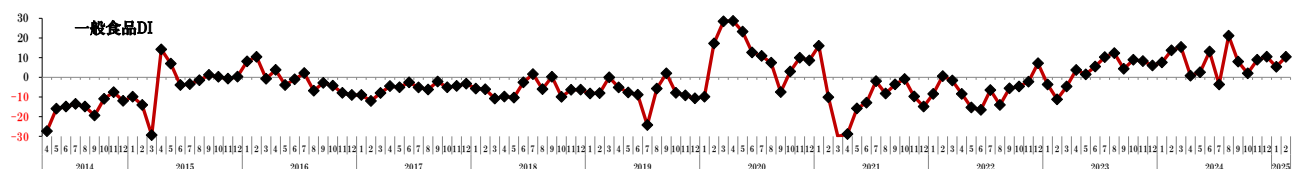
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	4.9	26.4	38.7	26.4	3.7	-0.6
日配（当月）	<b>6.0</b>	<b>25.9</b>	<b>33.6</b>	<b>31.9</b>	<b>2.6</b>	<b>-0.2</b>



低い気温が続き、おでんや鍋などホットメニュー関連の豆腐や水物、練り物が好調に推移した。青果相場高騰により、冷凍野菜をはじめとする冷凍食品、漬物類が好調、単価が上昇している卵も売上高の維持を牽引した。寒暖差の大きかった地域では商品管理が難しい月となり、牛乳やデザート類など洋日配の動きが鈍く、値上げのあったパン類は点数減により不調となった店舗が多い。

#### 6. 一般食品：10.4（好調）

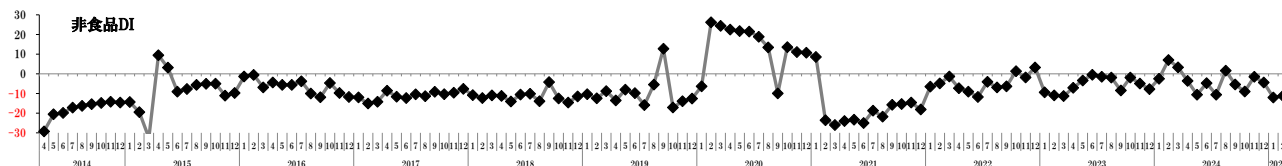
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	4.3	20.1	36.0	29.3	10.4	5.3
一般食品（当月）	<b>1.7</b>	<b>14.4</b>	<b>35.6</b>	<b>37.3</b>	<b>11.0</b>	<b>10.4</b>



引き続き米類は価格高騰や供給不足報道等により、大きく売上を伸ばした。レトルト米飯など代替品の需要も高まっている。生鮮品高騰で油や調味料の動きが鈍いなか、気温低下により、鍋つゆやスープなどのホットメニュー、インスタントコーヒーやお茶などが順調に推移した。酒類や飲料は動きが鈍く、ビールは前年酒税法改正による特需からの影響を受けた。バレンタイン需要は年々減少するも、手作り用商材の動きが良かった店舗も。

## 7. 非食品 DI：-11.2（不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	13.1	40.0	32.5	10.6	3.8	-12.0
非食品（当月）	13.2	37.7	33.3	12.3	3.5	-11.2



寒波により、カイロなどの防寒商材の動きがよかった地域が多くみられた。ティッシュペーパーを中心に紙製品は価格上昇により好調に推移した。インフルエンザや花粉対策として、マスクに需要増がみられた。価格上昇が続く家庭用洗剤やペットフードは伸び悩んだ。ドラッグストアやホームセンターなどとの競合激化を指摘するコメントが多くみられた。

### カテゴリ別 DI による好不調判断

かなり好調：～20      好調：20～10      やや好調：10～0  
 やや不調：0～-10      不調：-10～-20      かなり不調：-20～

### 2025年3月調査（2月実績）キーワードTOP3

1. 米の価格高騰
2. うるう年の裏年で営業日が一日少ない
3. 寒波（低い気温）

### （参考）2024年3月調査（2月実績）キーワードTOP3

1. うるう年により営業日が多い
2. 生鮮相場価格に落ち着き
3. 肉食需要堅調

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

2月実績速報版      125社  
 1月実績確報版      173社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)